



市政 PICK-UP

夢のチームが岩国に

11月21日、愛宕スポーツコンプレックス陸上競技場（55フィールド）でドリーム・サッカーin岩国が開催されました。

この催しは宝くじの社会貢献広報事業として、サッカー元日本代表と元日本代表に準ずる選手で構成されるドリーム・チームが親善試合やサッカー教室などをを行い、青少年の健全育成や地域社会の発展を目的として開催されたものです。

午前中は少女サッカー教室が行われ、子供たちは憧れの

宝くじスポーツフェア ドリーム・サッカー in 岩国

選手からの指導に熱心に耳を傾け、楽しく練習に取り組んでいました。午後からはドリーム・チームと岩国市選抜チームとの親善試合が行われ、現役時代をほうふつさせる元日本代表選手の華麗なプレーに会場からは大きな拍手と歓声が送られました。

市では今後もより多くの市民が、スポーツを通して明るく健康に過ごせるような取り組みを行っていきます。

☎(29)51103
 囲スポーツ推進課



親善試合ではドリーム・チームの選手が試合の解説を行い、会場を盛り上げた



多言語を学んで相互理解を

11月14日、岩国市民文化会館で第59回日本語・英語スピーチコンテストが開催されました。

この催しは日本人は英語で、アメリカ人は日本語でスピーチすることにより、学習意欲の向上と日米双方の文化体験や交流を目指すことを目的に毎年開催されています。

コンテストには小学生から大学生までの日本人とアメリカ人35人が出場し、出場者が自由に設定したテーマについて、1〜3分間でスピーチしました。



身振りを交えながら表情豊かに英語でスピーチする出場者

第59回日本語・英語スピーチコンテスト

愛宕小学校に転入したアメリカ人出場者が「初めは日本語がよくわからず、早くアメリカに帰りたいとばかり思っていたけど、日本人の友達ができてからは学校が楽しくなった」と一生懸命に日本語で話すと、会場内からは暖かい拍手が送られました。

市はスピーチコンテストの開催などを通して、今後も多文化共生推進のため日米の文化を学ぶ機会の創出に努めていきます。
 岡都市交流室 ☎(29)5211



出場者のスピーチ後は講評が行われ、優秀者には賞状と記念品が授与された

心をつなぎ、たすきをつなぐ



仮装賞を狙う日米両チームがエールを送り合い、交流を深めた



今年3月で休校となる美川小学校の生徒がラストイヤーと書かれたおそろいのユニフォームで参加した

12月5日、愛宕スポーツコンプレックス陸上競技場(55フィールド)で「日米親善リレーマラソン」が開催されました。
 日米交流を目的としたこの大会には136チーム、1400人が参加し、1周1.4kmのコースで3時間の周回数を競いました。

オープニングイベントでは昨年5月に中止となった東京オリンピック聖火リレーで岩国市聖火ランナーとして走る予定だった美和町出身の三浦由子さんと

日米親善リレーマラソン

岩国中学2年の福永果さんがトーチキスを行い、大会を盛り上げました。

会場では趣向を凝らした仮装で参加するチームや声を掛け合う日米のチーム、職場やスポーツ仲間などと一緒に参加したチームが爽やかな汗を流しながらたすきをつなぎました。

市は来年も日米交流やスポーツを気軽に親しめる本大会の開催を予定しています。

岡スポーツ推進課
 ☎(29)5103